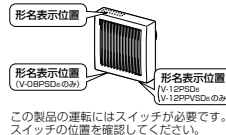


三菱パイプ用ファン 居室・トイレ・洗面所用

据付説明書

形名によって取付方法が異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。



この製品の運転にはスイッチが必要です。スイッチの位置を確認してください。

取付け終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

取付けを始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に取付けてください。

- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は居室・トイレ・洗面所に取付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因になります。
- 直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材（ウェザーカバーなど）を取付けてください。
- 雨水浸入防止のため外風の吹き付けの強い場所では風圧シャッター付深形フード（12PPVSDeは耐外風高性能フード）を取付けることをおすすめします。壁面汚れ、雨水浸入、電気式・風圧式シャッターのばたつきの原因になります。
- この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。

形名	グリル形状	電源仕様	適用パイプ	付属部品
V-08PDs	角形格子グリル		●塩化ビニル管…VP、VU（呼び径100mm） ●鋼板管（内径100mm）	●モネジ…2本
V-08PSDe（電気式シャッター付）				
V-08PXD6（-BE） V-08PPXD6	インテリアパネル			
V-12PSDe（電気式シャッター付）	角形格子グリル		●塩化ビニル管…VP、VU（呼び径150mm） ●鋼板管（内径150mm）	
V-12PPVSD6（風圧式シャッター付）	角形パンチンググリル			

お願い

- 高温（40℃以上）になるところに取付けしないでください。（故障の原因になります）
- 塩害、温泉害の発生している場所には取付けしないでください。（故障の原因になります）
- アルミフレキシブルダクトへの取付けはしないでください。（振動の原因になります）
- システム部材（ウェザーカバーなど）は壁厚にあったものを選んでください。（壁厚により取付けられないものがあります）
- 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

安全のために必ず守ること

⇒ 梱包箱を確認ください

外形寸法図

⇒ 梱包箱を確認ください

取付方法

注意

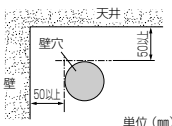
- 湿気が多い場所（浴室及びシャワー付洗面台・衣類乾燥機などの湿気が直接当たる場所）、結露する場所には取付けません（感電・故障の原因になります）
- V-12PPVSD6は壁取付専用です。天井には絶対に取付けません（シャッターが開かないため、換気風量が確保できなくなります）

1. 取付前の準備

壁取付けの場合（壁穴へのパイプの固定） ※V-12PPVSD6は壁取付専用です。

1. 取付け場所を決めて穴をあける。

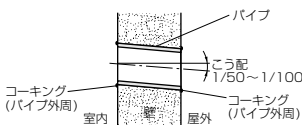
- 壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
- 必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に取付けてください。



2. 壁穴にパイプを確実に固定する。

パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。

- 電源線を室内に引き込んでから（2.電気工事）参照）行ってください。
- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- 壁内への雨水浸入を防止するためパイプは室内壁面まで差し込んでください。



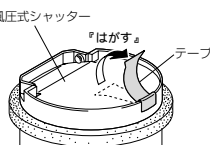
※パイプは壁面より室内側に不出ないようにしてください。

お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。

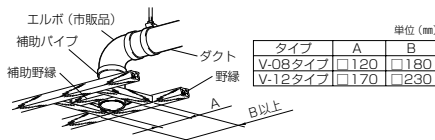
3. 風圧式シャッター固定用テープをはがす。（V-12PPVSD6のみ）

- 3.本体の取付け…の前に確実にテープをはがしてください。



天井取付けの場合（野縁組立とダクト配管）

1. 下図のように野縁組立をし、ダクト配管をする。



お願い

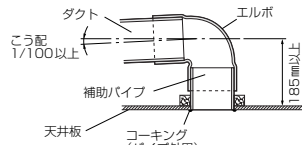
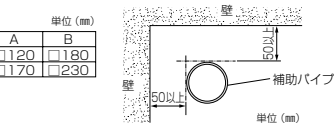
- 補助パイプが壁から上図の位置になるようダクト配管を行ってください。

2. ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板をはる。

3. エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。パイプと天井のすき間はコーキング処理を施します。

お願い

- ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外側に1/100以上の下りこう配をつけてください。
- 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。



※補助パイプは天井面より室内側に不出ないようにしてください。

2. 電気工事

警告

- 交流100Vを使用する（直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります）

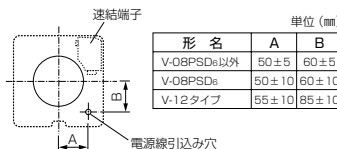
注意

- 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う（接続不良や誤った電気工事は、感電・火災の原因になります）
- 電気工事は電気工事店に依頼する（感電の原因になります）

●市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせて結線してください。

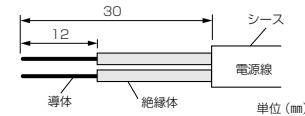
1. 電源線を右図の位置から室内に引き込む。

- 電源線はVVVF φ1.6、φ2.0 2芯をご使用ください。



2. 電源線の先端を右図に合わせて皮むきする。

- 端子部への水・ほこりの浸入を防ぐため皮むき寸法を必ず守ってください。

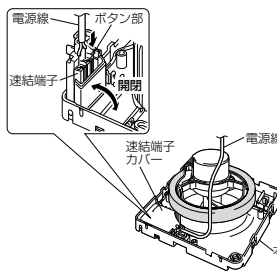


3. 本体の取付け（壁取付け・天井取付けともに同様の取付けかたです）

1. 本体からグリルをはずす。

2. 電源線を接続端子に差し込む。

- ①接続端子カバーを図のように開ける。
- ②電源線を接続端子に差し込む。
- ③確実に接続端子カバーを元通り閉じる。



お願い

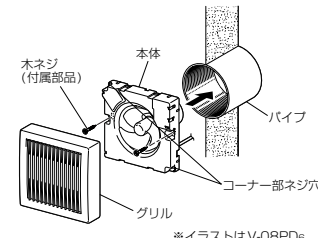
- 電源線の皮むき部分は確実に接続端子に差し込み、端子より出ないようにしてください。
- 電源線は軽く引っ張って接続端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源線は本体面に密着させて配線してください。
- 電源線を接続端子よりはずす場合は、ボタン部を押しながら電源線を引き抜いてください。

※イラストはV-08PDs

3. 本体を固定する。

本体の上下を確認して本体をパイプに差し込み、付属のモネジ2本で本体を固定する。

- 左右の取付用穴をご使用ください。必要に応じてコーナー部ネジ穴（V-08PSDeは下部ネジ穴、V-12タイプは上下部ネジ穴）をご使用ください。
- 石膏ボードに取付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。



※イラストはV-08PDs

お願い

- 本体をパイプに差し込むとき、シャッター中央部に力を加えないでください。シャッター開閉不良の原因になります。（V-08・12PSDeのみ）

4. グリルを本体に取付ける。

- グリルの方向を間違えないよう本体に取付けます。

5. 以上の取付けが終了した後、本体とグリルが確実に取付けられているか確認する。

6. 試運転を行う。

- 換気扇が運転・停止（V-08・12PSDe、12PPVSD6はシャッターが開・閉）するかを確認してください。
- 異常な音・振動などがなければ確認してください。